

ウスイエンドウ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス栽培	[]							○⇔○	[]			
露地栽培												
普通栽培				[]					○⇔○	[]		
初夏どり					[]						○⇔○	
抑制栽培							◇⇔◇	○⇔○	[]			

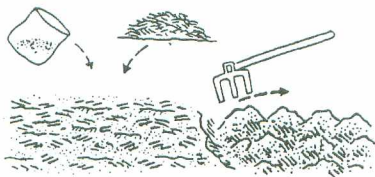
特性と品種

特性 … 豆類のなかでは最もいや地性が激しく、連作すると抑制物質のために生育が弱り、病害の発生が多くなり、収量が激減します。

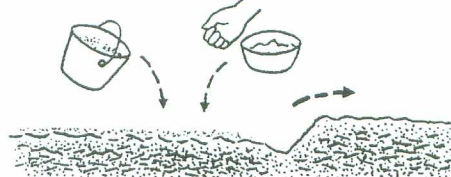
品種 … 和歌山県で育成しました「きしゅうすい」が栽培されています。

畑の準備

連作を嫌いますので、3～5年の間は同じ所に栽培しないようにします。



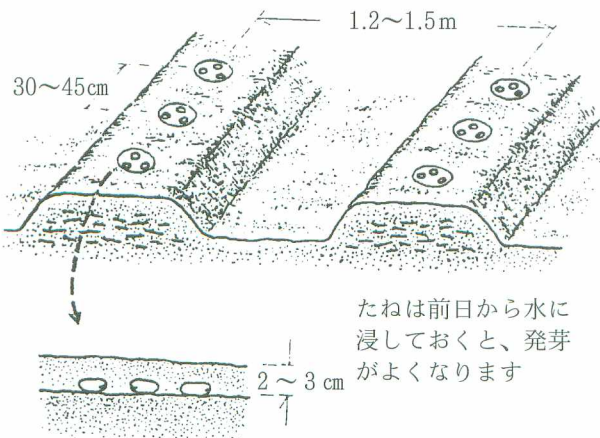
石灰と堆肥（10㎡当たり10kg）を施し耕します。



化成肥料を10㎡当たり1kg施します。草木灰や過リン酸石灰もあれば、併せて施し耕します。

たねまき

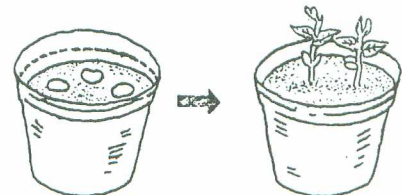
1ヶ所に3～4粒ずつ、点まきします。



たねは前日から水に浸しておく、発芽がよくなります

《移植の場合》

前作がまだ畑にあるときは、ポリポットにたねをまいて、本葉1～2枚で植えます。たねまき後、20日以内に植えるようにします。



間引き

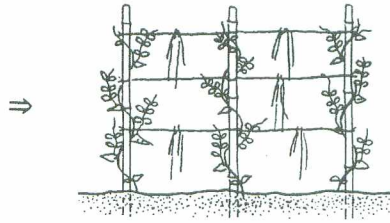


草丈が7～8cmになったら、1ヶ所に2本立てにします。

支柱立て



木や竹を使って仮の支柱立てをします。



支柱を何本か立てて、テープなどを張ります。
途中にわらを吊すのも方法です。

防寒対策

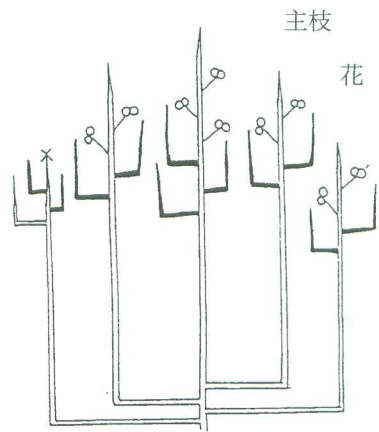


堆肥かもみがらをかけます。

北風から株を防ぐために、図のような防寒対策をします。

整枝

- ◇主枝と第1次分枝を生かし、第1花着花節の直下1~3節に発生する第2次分枝と第3次分枝を欠きます。
- ◇凍害などで主枝や第1次分枝の先端が止まっている場合は、適当な第2次分枝を残します。
- ◇最終的には、うね1mの間に茎を25~30本残します。(茎葉の隙間から僅かに反対側の景色が見えるくらいをめやすにします。)



整枝の模式図

収穫

開花後45日ぐらい、積算温度で約800℃をめやすに収穫します。
若取りに注意し、子実が充実したさを収穫します。

四季の野菜と果物づくり

(家の光 59年4月号付録) 内山 総子 社団法人 家の光協会

コメント

☆育て方のポイント

- 連作を避けるとともに排水の良い所を選びます。
- 茎葉に光線が十分当たるようにします。
- チッソの施用を控え、リン酸とカリを多く施します。

☆食べ方

◆ウスイエンドウの卵とじ

- ①調味料、だしを沸騰させ、鶏肉、エンドウ、カレー粉を加え中火で煮ます。
エンドウに味がしみこむまで、弱火で3~4分煮込みます。
- ②といた卵を鍋上の高い所から糸状に外側から円を描くように落とします。
- ③半熟になったら、火を止めて、ふたをして少し蒸らします。

◆エンドウのポタージュ

- ①タマネギ1個をみじん切りし、大さじ2杯のバターですきとおるまで炒めます。
- ②①にエンドウとスープ2カップを加えて、柔らかく煮、裏ごしするか、ミキサーにかけます。
- ③牛乳を加え、塩、こしょうで味を調べてできあがりです。